

## 令和4年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市市民活動支援センター		
指定管理者	社会福祉法人 羽咋市社会福祉協議会		
住所	羽咋市鶴多町亀田17番地	選定方法	公募
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日		
指定管理料	10,000千円(令和4年度当初契約額)		
評価担当課	地域振興室		
年度重点目標	利用者の意見や要望を踏まえ、利用しやすいサービス提供に努め、利用者の増加を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		書類 現地	事業計画書どおり(センター長1人、主任1人、職員1人、臨時1人)。
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		書類	個人情報保護研修、接遇研修、AED研修に参加。
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A		聞き取り	第三者への再委託は行っていない。
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		聞き取り	適正に実施されている。 ※清掃指定曜日:水曜日
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	事務室、交流スペースともに清掃、整頓されている。
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	—		聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	—		聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		書類	備品台帳に写真付で管理。
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		聞き取り 現地	HP改修を実施するとともに、FBとも連動してブラッシュアップし、積極的に取り組んでいる。
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		聞き取り	該当事例なし。
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A		書類	6月～7月にアンケート実施。 ※集約済
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		書類	速やかに対応している。 ※対応記録票で経緯を記録・管理
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		書類	連絡体制を共有。 訓練2回実施済。
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		書類	労務損害保険、備品損害保険加入。

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考		
		中間	年間				
5	個人情報保護の措置状況	個人情報	は適正に管理されているか	A	現地	施錠付キャビネットで管理。	
6	経理の執行管理状況	団体	のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	書類	他の業務と別事業化し適正に会計管理している。	
		収支	計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	書類	計画どおり適正である。	
		料金	等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	書類	適正である。	
7	施設利用状況	施設	の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	書類	新設の交流スペースの利便性がよく、昨年度と比較し、利用者数は大幅に増加した。 ※利用者数：694人→866人	
8	市への報告体制の確保	月例	報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	書類	3か月に一度、定期的に詳細な月例報告が提出されている。	
9	アンケート調査意見及び対応	アンケート	結果を踏まえた市民団体からの要望やニーズとしては、パソコン操作やSNS講座開催などが多かったため、デジタルディバイド対応として関連講座を開催。今後も継続的に開催予定である。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	市の	備品として設置されている輪転機の耐用年数が経過し、老朽化していることから買い替えのタイミングを迎えている。指定管理事業者が管理する備品でないため、対応を検討する必要がある。また、定期的に施設を夜間利用する団体もあるため、そのセキュリティ、人的対応が課題となっている。				
11	今後の管理方針	今年度	から新たに指定管理業務としてスタートしており、まだ半年しか経過していないが、施設運営、事業管理ともに良好であることから引き続き、現行どおりの管理を行っていく。				
総合評価	中間評価	年間評価		●●	年度	●●	年度
	A						